

福祉の職場で働く看護職員研修会 受講者現況調査報告書

1 調査目的

本会では、福祉職場の看護職員に対し、その役割や必要な知識、技術等について学んでいただくことを目的に「福祉の職場で働く看護職員研修会」を実施しているが、本研修が、福祉・介護サービス従事者の資質向上や福祉人材確保・定着に寄与できているか確認する

2 調査対象

令和2年度福祉の職場で働く看護職員研修会受講者

3 調査方法

郵送調査：受講者の所属する事業所に依頼文書を郵送し、Googleフォームにて調査項目に回答

4 調査期間

令和6年1月11日(木)から1月22日(月)

5 調査項目

回答日時点での受講者の就業状況、受講者の研修受講時の役職名、現在の役職名、今後実施を希望する研修内容等

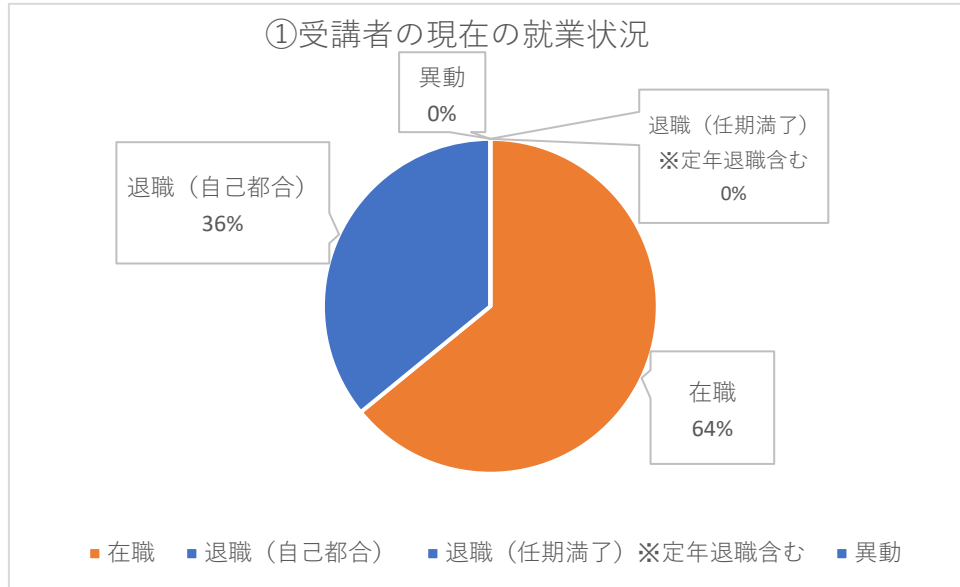
6 調査結果

(1) 回収率

対象者数	66人
回答者数	33人
回収率	50.0%

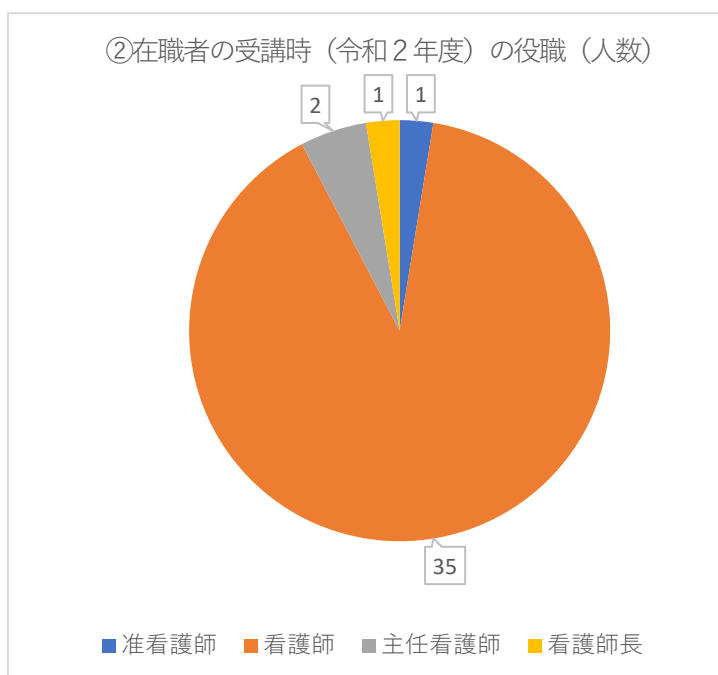
(2) 集計結果

① 受講者の現在の就業状況

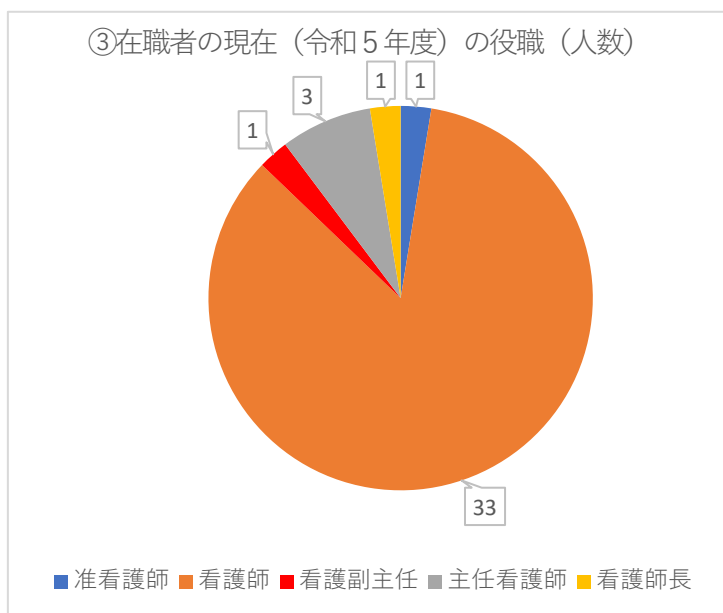


令和2年度の受講者のうち在職が64%、退職（自己都合）が36%であった。本調査期間（令和2年度～令和5年度）は、新型コロナウイルス感染拡大による影響で全国的に看護職員の離職率が高くなっていたため、時勢柄退職者が多かったのではないかと考えられる。

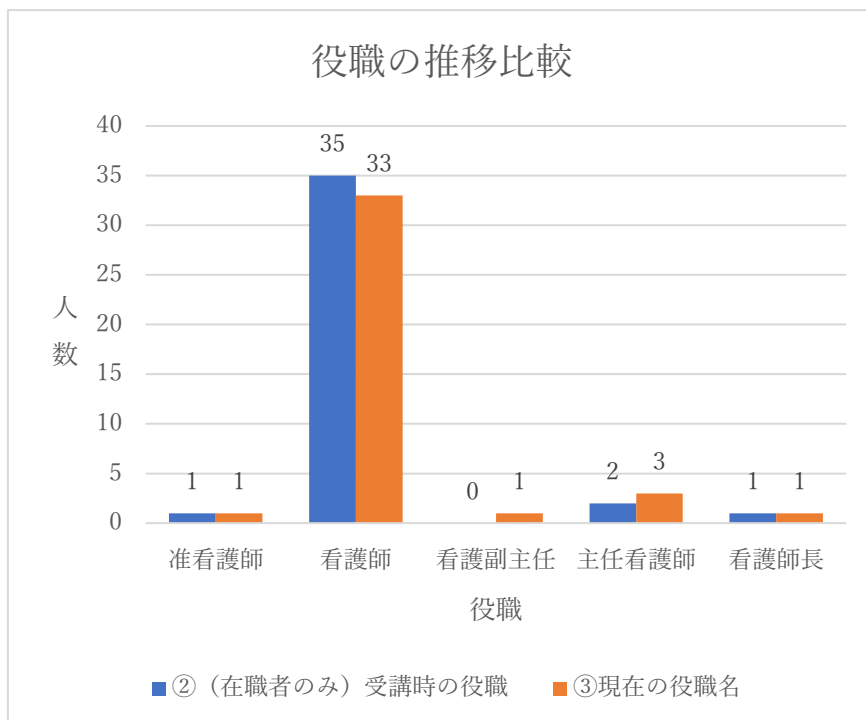
② 在職者の受講時（令和2年度）の役職



③ 在職者の現在（令和5年度）の役職



④ 役職の推移比較



看護職員の役職については、令和2年度から令和5年度にかけて看護副主任及び主任看護師への昇進が1名ずつ見られた。

⑤ 今後希望する研修内容等

- 看護職と介護職の連携
- 1 日目に参加させていただきました。他施設の看護師さんと業務内容や職場の様子など情報交換ができて大変参考になりました。引き続き同じような内容の研修があると、これから介護施設で働く方にとっても有益だと感じます。
- 保湿スキンケア
- 虐待防止について
- 虐待防止
- 看取りについて
- 高齢者に多い疾患。带状疱疹等早期発見できる情報など。
- 虐待防止
- 緊急対応について

本研修では福祉職場の看護職員に対し、研修を通してその役割や必要な知識、技術等について学んでいただいているが、看護職員の配置が少ない職場も多く、本研修が情報交換の機会になっていることが分かった。今後希望する研修内容については今後の研修実施において検討していきたい。